



3学年通信 「キャッチボール」

第3学年通信 第6号 発行日 令和2年9月1日(火)



短かった夏休みを終え、やっと9月を迎えました。気温が30度を超える毎日で、感染症はもちろんのこと熱中症にも気を付けながらの学校生活が始まっています。1学期の期末テストも無事に終わることができました。そして先週の金曜日からテストの返却が始まりました。生徒たちはその結果を見て、努力したことが結果となったと笑顔の生徒もいれば、思うような結果が出ずに浮かぬ顔をしている生徒もいます。しかしどちらにしても、生徒たちは気持ちを切り替えて次の目標に向かって突き進むしかありません。点数も大切ではありますが、理解していなかった内容をしっかりと振り返り、再度学習することが次に繋がります。ご家庭でも、10月5日(月)の中間テストに向けて見守りつつ、叱咤激励の温かい言葉かけをお願いします。

また、9月9日(水)から3日間、三者面談が予定されています。正味15分程度の面談となります。1学期の通信票をお渡しし、7月に提出していただいた進路希望調査をもとに、進路について具体的なお話をさせていただきます。もちろん学校生活や家庭生活等についてもお話してください。短い時間での面談となりますので、相談したいことを前もってお子様にもメモ等でお渡しいただけると、担任もその場でお答えできると思います。お忙しい中ですが、どうぞよろしくをお願いします。 3学年主任

特別な2学期を創り上げましょう

「楽しみにしていたことは、どんどんなくなっていくのに、テストはなくなるならない…」そんな心の叫びが聞こえてきます。先日、臨時の学年集会を開き、校長先生から修学旅行の中止についての話がありました。心配なことも多い中での修学旅行でしたが、どうかして何とか行きたい!と希望をもって事前学習を行っていたので、本当に残念でなりません。また、9月に予定されていた体育大会が10月に、10月に予定されていた蒼依祭が形を変えて行うこととなり、3年生の雄姿を、後輩にまだ魅せることができずにいます。生徒たちはこのとても残念な現実に対して、腐る様子を全く見せず静かに受け止めているように感じます。しかし、口にしないだけで、誰もが残念に思っているでしょうし、なんで私たちが…と悔しい思いももっていると思います。

8月19日の始業式の校長先生のお話の中で、「これからの時代を生きる私たちが積み重ねていく経験のほとんどは、予期しない出来事や偶然の出会いによって創られていく」と、5つのキーワードを挙げて話をされました。この新しい生活をより良いものにするために5つのキーワード。

- ①好奇心 ②持続性 ③楽観性 ④柔軟性 ⑤冒険心

新しい経験を機会に興味を持つ「好奇心」、うまくいかなくても可能性を考え続ける「持続性」、きつとうまくいくと思う「楽観性」、一つのことにこだわりすぎない「柔軟性」、なんでもやってみようと思う「冒険心」。

これまで誰も経験したことのないこの状況の中で、何ができるか考え、新しいことに挑戦する、これまでの当たり前が当たり前でないこの緊急事態を、みんなで知恵を絞って、こんな中でも楽しめる、笑い合える、手をつなぎ助け合える心豊かな「チーム依知」を、この中学校生活でまっすぐに成長してきた3年生が中心となって、乗り切っていきたいと思っています。そしてそれができる3年生と信じています。勝負の2学期を全力で駆け抜けていきましょう!

私の進路選択 Part4

社会科

小学生の時から、実は行きたい高校、行きたい大学が決まっていました。勉強もそれなりについていけていたことや、そもそも知っている高校自体が少なかったこともあり、「普通に勉強していれば大丈夫だろう」と思いながら中学校に入学しました。しかし、中学校の勉強は徐々に難しくなり、さらに野球部の活動に熱中していく中で、目標や考えが変わっていきました。中学3年生になったころには、「どの高校で野球をやるか」を進路選択の基準とするようになっていました。そして、いろいろなことを考えるようになりました。

野球に限らず、高校で部活動をするにはそれなりの覚悟が必要です。中学時代にレギュラーであったとしても、高校では試合に出られない可能性があること。経験したことの無い高いレベルでの活動が待っていること。歩いて通学できた地元の中学校とは違い、高校までは通学時間も倍以上になること……。

私が一番考えていたのは、「甲子園に行ける可能性はあるが、自分が試合に出られない可能性も高い強い高校」に行くか、「自分が試合には出られたとしても、甲子園に行くことは難しい高校」の選択でした。どちらに行くのが正解か……今振り返ってみて、すごく悩んだかということ、実は心の中ではあまり悩まなかった気がします。当時の私は「リスクはあるけど、チャンスがあるなら挑戦してみよう!」という思いが強かったのかもしれない。最終的に、「強い高校」を選びました。当然、試合に出られる機会も少なく、楽しいことより苦しさや悔しさを沢山感じました。通学時間は片道1時間半、遅い時の帰宅時間は23:30を過ぎた頃で、バスの中では毎日爆睡していました。「もっと普通の高校にも行ってみたかったな」と今でも考えることはあります。それでも、「違う進路選択をしていたら……」と後悔ばかりという訳でもありません。そこで経験したこと、出会った指導者、仲間は今でも財産として残っており、今の私をつくる上で欠かせない財産になっているからです。

どんな進路が正解なのかは、進学後の自分の行動で決まると思います。高校生活では、うまくいかないことも沢山あるでしょう。でも、最後まで頑張るという覚悟をもって進路選択をしてほしいと思います。自分が高校で何をしたいのか。将来どうなりたいのか。自分を見つめなおし、これからの自分の進む道をよく考えていきましょう。



陸上部 総体 8/29(土)

他の運動部より1ヶ月遅れの大会でした。天気にも恵まれ、全力で戦う姿が輝いています!!



